

主催：厚生労働省

日時：2025年3月18日（火）13:00～17:30

会場：東京都千代田区 ベルサール半蔵門

「生産性向上推進フォーラム2024」

介護職員の働きやすい環境づくり厚生労働大臣優良表彰 事例発表

社会福祉法人 平鹿悠真会

特別養護老人ホーム **悠西苑**

理事兼施設長 辻田 誠

理事兼生活相談員 佐々木 充晃

特別養護老人ホーム 悠西苑 概要

〈基本情報〉

法人名：社会福祉法人 平鹿悠真会

住所：秋田県横手市平鹿町浅舞字新堀 1 4 6

開設：平成26年4月

利用者数：40名

特養職員数：34名（常勤32名/非常勤2名）

男女比：男性8名 女性26名

介護職員数：22名（男性4名、女性18名 R7.1月現在）



YUSEIEN

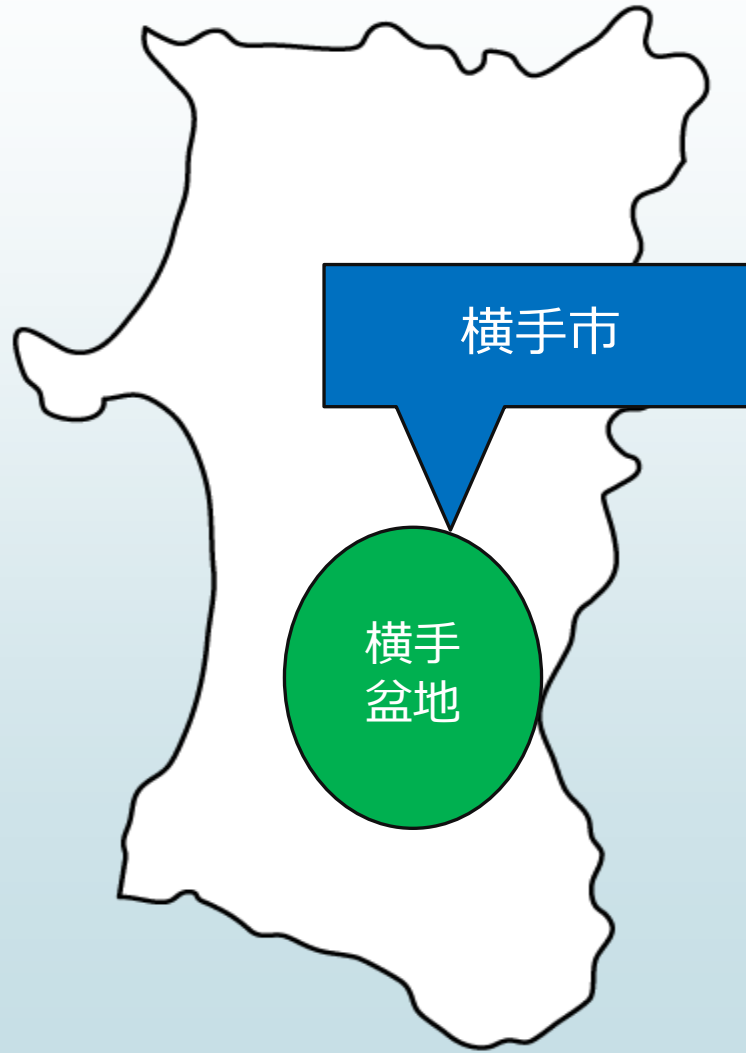
横手市ってどんなところ！？



いぶりがっこ



かまくら



横手焼きそば

主な受賞歴（国関係）

- ▶ 平成29年度 女性が輝く先進企業2017 内閣府特命担当大臣表彰
- ▶ 平成30年度 均等・両立推進企業表彰
- ▶ ファミリーフレンドリー企業部門 厚生労働大臣 優良賞
- ▶ 令和4年度 グッドキャリアアワード2022
- ▶ イノベーション賞 厚生労働省人材開発統括官表彰
- ▶ **令和6年度 介護職員の働きやすい職場環境づくり**
厚生労働大臣表彰 優良賞



2024年9月3日厚生労働大臣優良表彰



～～悠西苑の取り組みへの考え方～～

➡ 「働きやすい職場づくり」の総合的対策

➡ 女性活躍・両立支援・人材育成・休暇制度・ICT導入等



➡ 離職を防止し、継続的・長期的な雇用を目指す



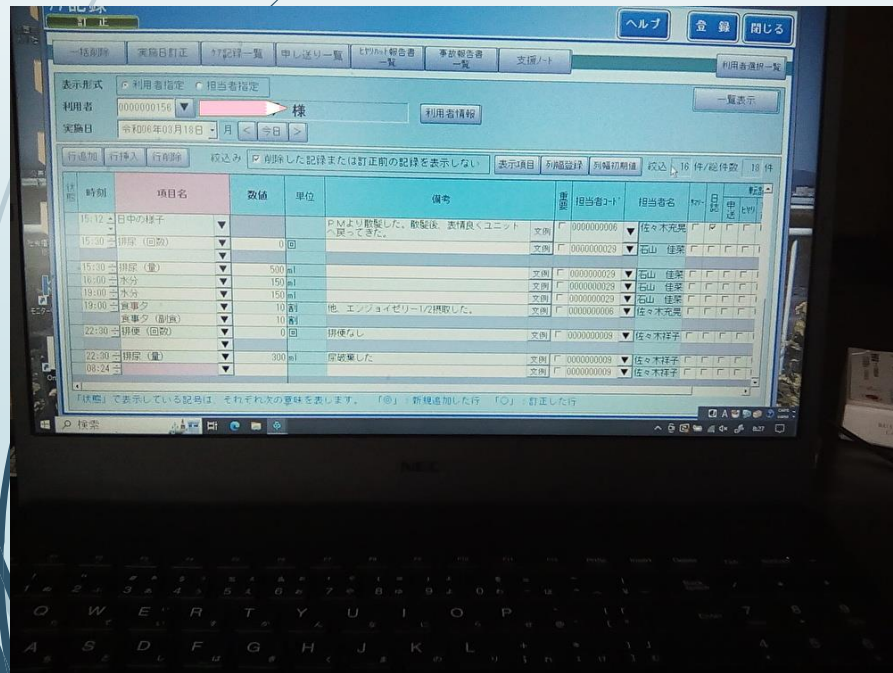
➡ これが生産性向上の近道と位置づける



生産性向上に係る取り組み①

介護記録入力ソフト：ワイズマンASP
+ケア記録オプション『すぐろくTablet』

* Wi-Fi全館完備



生産性向上に係る取り組み②

入浴補助機器の導入



セキスイ
リフトキャリー



生産性向上に係る取り組み③

- ▶ 文書管理ツール 『DocuWorks』
▶ (富士フイルムビジネスイノベーション)
▶ **ペーパーレス+間接業務削減+共有**
- ▶ 見守り介護ロボットの導入
▶ **aams/アアムス (非接触型)**
- ▶ 会議・研修時間の変更 (夕方⇒朝)
▶ **参加率向上、残業回避、ワークライフバランス**
- ▶ タイムカードのIC化
▶ **勤怠管理+スムーズな残業・休暇申請**

職員の処遇改善に係る取り組み

- ・ 育児介護休業法を**上回る**休暇制度等の導入
- ・ 子の看護・介護休暇の有給化や多目的休暇を導入し、**勤続年数に応じて取得日数を増加させる**仕組みを導入
- ・ **24通りのシフト**で多様な働き方を選択
 - ▶ (不妊治療・不登校児ケア・コロナ対応等)
- ・ 事業所内託児所の保護者（職員）**負担ゼロ**に

(労働時間及び休憩時間)

第19条 職員の労働時間は、1か月単位の変形労働時間制とし、その起算日は毎月1日とする。1ヶ月以内の一定期間を平均して1週間の労働時間が40時間以内、1日の労働時間が休憩時間を除き8時間以内を超えない範囲で、各週、各日の労働時間を決定する事とする。

2 始業・終業の時刻及び休憩時間は、次のとおりとする。ただし、業務の都合その他やむを得ない事情により、これらを繰り上げ、又は繰り下げることがある。この場合は、所属長が前日までに通知する。

A 勤務	6:00～15:00	B 勤務	6:30～15:30	C 勤務	6:45～15:45
D 勤務	7:00～16:00	E 勤務	7:30～16:30	F 勤務	8:00～17:00
G 勤務	8:30～17:30	H 勤務	9:00～18:00	I 勤務	9:30～18:30
J 勤務	10:00～19:00	K 勤務	10:30～19:30	L 勤務	11:00～20:00
M 勤務	11:30～20:30	N 勤務	12:00～21:00	O 勤務	12:30～21:30
P 勤務	12:45～21:45	Q 勤務	13:00～22:00	R 勤務	13:30～22:30
S 勤務	21:30～翌7:00	T 勤務	22:00～翌7:00	U 勤務	17:00～翌9:00
V 勤務	16:30～翌8:45	W 勤務	17:00～翌9:15	X 勤務	17:30～翌9:45

人材育成に係る取り組み

- 「KAKUTAN プロジェクト」
- 喀痰吸引修了者を増やす活動
- 「一人一研修」
- 苑内外の研修に参加
- 誰もが学べる機会が与えられる
- 資格取得支援
- 介護福祉士等の資格取得を目指す職員への全費用を
- 支給



果たして成果は・・・

(R6.9月受賞当時)

- 育休復帰率 **100%**
- 介護職員正職員率 **100%**
- 介護福祉士率 **100%**
- 喀痰吸引研修修了者 65%
- 多目的休暇（特別休暇） 94.8%（R3は100%）
- 残業時間 一人当たり 月1.8時間⇒月1.3時間
- 年間離職率 16.6%⇒2.6%

苦勞した点

■ **働きやすい環境は一人ひとり違うと
いうこと**

■ **~~良かれと思う取り組みでも不満や失敗もある~~**



■ **様々なアンケートで職員からの評価や現状を把握し
ながら課題解決に向けて推進**

メッセージ

- ▶ ・変革すること、新しく導入することは結構大変
- ▶ できることから始めましょう！！
- ▶ (例) 5S、マニュアル整備、共有方法の見直し等

- ▶ ・テクノロジー導入が必ずしも効率化などとは言えない
- ▶ 職員の意識改革や理解を得る努力も必要
- ▶ ケアの質、負担軽減、離職防止

最後に

- ▶ 今後、業界は厳しい状況に突入していきます。
- ▶ 必要性に応じて介護ロボットやICTも上手に使い
- ▶ ながら
- ▶ **不安なく 負担なく 不満なく**
- ▶ 働きやすいといえる環境を今後も目指していきます。

ご清聴ありがとうございました！

